



令和元年 8 月 21 日

附属高等学校生徒が、第 33 回 AIG 高校生外交官渡米プログラムへの参加報告のため、広島県教育委員会教育長を訪問します

高校生外交官渡米プログラムは、AIG 損害保険が社会貢献活動として実施するもので、次世代に活躍するグローバル人材の育成を目指したプログラムです（文部科学省、米国大使館など後援）。

全国 800～1,000 人程度の応募者より、書類選考、面接等により 40 人が選出され、広島県代表として広島大学附属高等学校 2 年大段利々子が参加しました。

7 月 16 日から 8 月 6 日までの約 3 週間、ワシントン D.C.とニューヨークで政治、経済、歴史、文化を学び、ホームステイおよび同数の米国高校生と共同生活を行い、国境を越えた高校生外交官としてよりよい世界の実現に向け討議しました。

この貴重な体験について報告のため、下記の予定で広島県教育委員会の平川教育長を訪問しますので、是非取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

- 1 日時： 令和元年 8 月 27 日（火）16:30～17:00
- 2 場所： 広島県庁東館 4 階 教育長室
- 3 報告者： 広島大学附属高等学校 2 年 大段利々子（おおだんりりこ）
- 4 概要： パワーポイントを用いて、次の内容を報告します。

国防総省、国会議事堂、国連、IMF、議会図書館、米国企業、9/11 メモリアル、スミソニアン博物館、移民博物館においては、第一線で活躍の担当者より、政治、経済、歴史、文化を学び、ハーレムではボランティア活動を行いました。

プリンストン大学では、米国高校生と 10 日間の共同生活を行い、「多様性社会への理解と取り組み」、「国家の安全と国際平和への課題」、「ステレオタイプの弊害」などを題材にディスカッションを行いました。

高校生ならではの視点で、日米社会の現状、自身の考え・想いをぶつけ合い、国境を越えた高校生外交官としてよりよい世界の実現に向け討議しました。

【お問い合わせ先】

広島大学附属高等学校
教諭（第2学年主任）西原利典
TEL:082-251-0192 FAX:082-252-0725

発信枚数：A4版 1枚